

一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 5 月 23 日

議 会 議 長 様

議席番号 15 番

議員氏名 森 山 哲 夫

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 物価高騰から、町民のくらしと営業を守る取組を	<p>(1) 深刻な物価高騰から、町民のくらしや営業を守る(町独自の)取組はどうなっているのか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」(杉戸町の交付限度額1億4573万円)は、どのような事業に活用する考えているのか。</p> <p>(3) 内閣府は、「原油価格・物価高騰対応分」の活用が可能な事業として、①住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の横出し支援や、生活困窮者に対する公共料金の負担軽減措置、②子育て世帯生活支援特別給付金への上乗せ措置や、学校給食費等の負担軽減など子育て世帯に対する支援、③農業者や交通分野をはじめとする中小企業者等への支援なども例示しているが、杉戸町では、そうした事業に活用していく計画はあるのか。</p>	<p>町長</p> <p>副町長</p> <p>総合政策課長</p> <p>担当課長</p>

5 月 23 日 午前・午後 8 時 40 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
<p>2. 国保税の値上げは中止を</p>	<p>5月18日に開催された杉戸町国民健康保険運営協議会では、「保険税率の見直し」が提案されました。</p> <p>そこで、以下伺います。</p> <p>(1) この日の運営協議会では、見直しの「背景」として「杉戸町では、この方針(第2期埼玉県国保運営方針)を踏まえ、保険税率を見直すこととした」と説明しているが、税率見直しの理由については今ひとつ明確に述べられていない。ここにきて「なぜ、見直しなのか」——税率の見直し(引き上げ)をせざるを得ない事情等を具体的に説明されたい。</p> <p>(2) 杉戸町は、県の運営方針で定めている「赤字市町村」に該当するのか。「該当する」というのであれば、杉戸町国保には「削減・解消すべき赤字額」がどれだけあるのか。</p> <p>(3) 法定外一般会計繰入金については、決算補填等目的以外のものも含め「そのすべてを解消する」というのが県の方針なのか。つまり、杉戸町でいえば多子減免や保健事業に係る繰入金についても「解消の対象となる」ということなのか。</p> <p>(4) この日の運営協議会では、県が示した令和4年度の標準保険税率(2種)等を用いて試算した場合の「税収見込額」などについては示されたが、「支払う側(被保険者)の負担」がどうなるのか、といったデータについてはいっさい示されなかった。</p> <p>そこで、①県が示した標準保険税率(2種)等を用いて試算した場合、杉戸町の「被保険者一人当たりの課税額」はいったいどのくらいになるのか。現行(令和4年度当初)と比較した場合の影響額(率)はどうなるのか。②共に62歳の夫婦2人・給与収入200万円の世帯では、県の標準保険税率(2種)を用いて試算した場合、保険税は現行と比べてどのくらい増えることになるのか、明らかにされたい。</p> <p>(5) 国保加入者の実態を踏まえるならば、県の標準保険税率に合わせた税率改定などできないのではないのか。現在でも高すぎる国保税をさらに引き上げても、「加入者は支払える」と思っているのか。古谷町長の見解を示されたい。</p>	<p>町長 副町長 町民課長</p>